

国語	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 漢字の学習に意欲的な生徒が多い一方、習得が一時的なものになっている。また、語彙の数には課題がある。 ○思考・判断・表現 文章を読み取るうえでの基本的な能力は身に付いている生徒が多い。文章作成においては、根拠をもとに自分の考えを表現することが課題である。 ○主体的に学習に取り組む態度 学習の自己調整が苦手な生徒が多い。また、意欲的に活動する生徒と集中力が持続しない生徒と二極化している。	○知識・技能 漢字小テストを継続し、作文などでも漢字を多く使用するように指導していき、日常生活で扱えるようになることを目指す。語彙に関する問題もテストに取り入れていく。 ○思考・判断・表現 定期考査の中でも作文問題を入れ、作文する機会を増やし、説得力のある文章の作成の仕方について指導していく。 ○主体的に学習に取り組む態度 振り返ることの有効性を繰り返し指導し、効果的な振り返りができるように指導する。ICT活用はもちろん、ジグソー法などの班活動など、様々な種類の学習方法を取り入れ、互いに教え合ったり、メリハリをつけたりする。
2年	○知識・技能 作文での誤字脱字が減ってきていたり、語彙力もついてきていたりなど、知識の定着が見られる生徒が増えてきたものの、定着していない生徒も一定数おり、二極化がすすんでいる。 ○思考・判断・表現 読み取りでは文章や段落の中心的な部分を捉える力に課題がある。また、作文では意見と根拠の結びつきが弱い生徒が多い。 ○主体的に学習に取り組む態度 各課題に意欲的に取り組む生徒がいる一方で、学習への関心や積極性に差があり、授業中の集中力の持続に課題がある生徒もいる。	○知識・技能 作文課題での漢字指導を行い、授業の導入時に新出漢字・語句を確認する時間を増やし、基本事項の定着を図る。 ○思考・判断・表現 授業の中で文章中の指示語・接続語に線を引かせるなど、文同士のつながりを視覚化させて中心的な部分を捉える力を定着させる。グループワークでの意見共有を通して意見と根拠の結びつきを修正し、筋の通った意見を文章化できる力をつける。 ○主体的に学習に取り組む態度 読む・書く・話す時間を明確に分け、授業進行にメリハリをつける。目標につながる単元課題を設定し、スモールステップで段階的に取り組ませる。
3年	○知識・技能 断片的かつ短期的にしか習得していないため、応用が利きにくい。 ○思考・判断・表現 基礎的な文章であれば読み解くことができるが、論説文などの図表を用いるものや、専門的な語彙を要する文章の読解に課題が残る。特に根拠を基に考えるという点で、飛躍した考えになることもある。 ○主体的に学習に取り組む態度 授業内でのアウトプットが少なく、課題としている点への自己認知ができていない生徒が散見される。	○知識・技能 作文などでも既習事項を積極的に活用し定着を促す。また、課題の条件にも取り入れていく。 ○思考・判断・表現 文章全体ではなく、段落や文といった小さなまとまりから文章全体の構成を理解させる授業展開を心掛ける。また、事実と意見とを識別させ、事実から根拠を見出すことを重点的に指導していく。 ○主体的に学習に取り組む態度 授業の展開を視覚的にわかりやすく示す。授業内での目標を子に応じて設定させる。

社会	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 単元テストや日々の授業内での復習より、基礎的・基本的な知識・技能は多くの生徒に概ね定着している。一方で、基本的な知識の習得が断片的な生徒もあり、定着状況に差がみられる。 ○思考・判断・表現 資料の読み取る力や、読み取ったことを表現する力は身につけている生徒が半数である。複数の資料を組み合わせると多角的に物事を見ることには課題がある。 ○主体的に学習に取り組む態度 話し合い活動への積極的な参加や、自分の意見を発信する場面がみられない生徒もいる。	○知識・技能 グーグルスライドを用いて、視覚的な支援を行う。既習事項を繰り返し復習することで、基本的な知識の定着を図る。 ○思考・判断・表現 適切な資料を選択、比較しながら、自分の考えをまとめる活動を設定する。また、生徒同士で意見を共有する時間を設け、表現力を伸ばす。 ○主体的に学習に取り組む態度 毎時間のめあてを明確に示し、振り返り活動を継続する。また、意見の共有を継続し学習活動に主体的に参加できる場面を設定する。
2年	○知識・技能 基礎的知識の習得が定着している生徒が一定数いるが、一方で基礎的知識の習得が断片的な生徒もあり、定着状況に差がみられる。 ○思考・判断・表現 資料の読み取りに苦手意識がある。また、学習した知識とつなげてつつ、解答することが課題である。レポート作成では、自身の考えを表現することが課題である。 ○主体的に学習に取り組む態度 生徒ごとに意欲的に学習に取り組む態度に差がみられる。	○知識・技能 基本的な用語の習得・定着のため、ワークブックを用いて繰り返し復習していくとともに、小テストを行い、生徒の理解状況を視覚的に見えるようにしていく。 ○思考・判断・表現 ICT機器を活用して適切な資料の選択・比較・分析を段階的にを行い、生徒の意見を共有しながら言語化し表現する力を伸ばしていく。 ○主体的に学習に取り組む態度 学習課題を提示して目標を明確にするだけでなく、振り返り活動を通して達成感を味わえる場面を設定する。
3年	○知識・技能 基本用語テスト及び定期考査の基本問題から、基礎的・基本的な知識・技能は概ね定着している。一方で、既習事項や社会的事象を関連付けて体系的に理解することに課題が見られる。 ○思考・判断・表現 単元末レポートや定期考査の応用問題では、資料を根拠として多面的・多角的に考察し、複数の知識を関連付けて論理的に表現することに課題が見られる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ワークや振り返りシートに継続して取り組む様子が見られる。一方で、自ら考えを発信する場面が少ない生徒も見られ、学習活動への参加状況に課題が見られる。	○知識・技能 スライド資料や地図、年表等を活用し、社会的事象の関連を視覚的に整理する。また、既習事項を繰り返し確認する場面を設定し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 ○思考・判断・表現 資料を比較・分析し、自分の考えをまとめる活動を設定するとともに、レポート課題や入試形式の記述問題を継続的に取り入れ、論述する力を育成する。 ○主体的に学習に取り組む態度 毎時間の学習目標を明確に示し、振り返り活動を継続する。また、意見交流やICTを活用した考えの共有を取り入れ、学習活動に主体的に参加できる場面を設定する。

数学	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 文字式や方程式などで単純な計算も困難な生徒がいる。 ○思考・判断・表現 学んだことの活用方法が分からない生徒が多い。表現を行うことを苦手ととらえている生徒も一定数いる。 ○主体的に学習に取り組む態度 言われたからやる能動的な生徒が多い。	○知識・技能 ICTを活用し、反復的な学習を促進する。 ○思考・判断・表現 利用の前段階の知識技能の授業段階で見通しの持てる授業の流れを確立し、単純な暗記ではないにようする。 ○主体的に学習に取り組む態度 単元ごとに振り返りを取り入れ、必要に応じてフィードバックを行う。 イーライブラリの活用で苦手箇所の克服を行い、主体的に学習に取り組めるようにする。
2年	○知識・技能 1年次に学習したことがらとの関連を考えたり、知識を体系的にまとめることが困難である。 ○思考・判断・表現 学んだことの活用方法が分からない生徒が多い。また、それらを言語化し、文章や言葉で他者に伝える力が低い。 ○主体的に学習に取り組む態度 他者との話し合いに消極的な生徒や、教員からの助言があるまで、手を動かさない生徒がいる。	○知識・技能 ICTを活用し、反復的な学習を促進する。 ○思考・判断・表現 知識を身に付けさせる段階から、その導出過程に着目するなど、暗記的な学習にならないよう注意する。また、考えを言語化させる活動を積極的に取り入れる。 ○主体的に学習に取り組む態度 単元ごとに振り返りを取り入れ、必要に応じてフィードバックを行い、苦手意識をなくしていく。
3年	○知識・技能 基本計算は定着しているが、文字式の応用や関数・図形の統合問題でのミスが目立つ。作図やグラフの作図技能に丁寧さが欠ける。 ○思考・判断・表現 答えを出すことだけで満足してしまい、「なぜそうなるのか」という理由付けや、証明・解き方の文章による表現力に課題がある。 ○主体的に学習に取り組む態度 進路意識から取り組む生徒も多いが、苦手な生徒は諦めが早く集中力が続かない。自力で考えず、すぐに答えを求める傾向がある。	○知識・技能 苦手な部分に関しては、ICTを活用して視覚的に捉えるように工夫する。作図やグラフを丁寧に描く意識を持たせるとともに、問題集等を活用した反復学習で計算・応用力の定着を図る。 ○思考・判断・表現 解き方のプロセスをペアや班で説明し合う活動を取り入れ、考えを言語化する力を伸ばしていく。考察や説明の型（定型文）を活用する。 ○主体的に学習に取り組む態度 毎時間の目標を明確にし、身近な事象を扱った導入で興味を持たせる。単元ごとに振り返りを行い、自身の学びの状況を意識させる。

理科	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 小学校からの知識の積み重ねができていない。小学校での既習内容と中学校での学習内容につながりを持ってない。 ○思考・判断・表現 観察・実験から得られた情報や結果を用いて自分の考えを思考し、判断し、表現する力が備わっていない。 ○主体的に学習に取り組む態度 生徒によって個人差はあるが、概ね主体的に取り組めない生徒の学力が低い傾向である。	○知識・技能 知識を積み重ねるために、小テストなど知識の確認を適宜行う。また、既習内容とのつながりが分かる授業内容の実施をする。 ○思考・判断・表現 考察の定型文を1学期は示してきたが、苦手な生徒は引き続き、それに基づいて考察を作成させる。 ○主体的に学習に取り組む態度 授業の振り返りにより、自身の取り組み状況を意識させる。
2年	○知識・技能 基本的な理論を理解していない生徒が一定数おり、学習内容の習得に個人差が見られる。 ○思考・判断・表現 実験レポートの作成では、自分の考えを表現する力に課題がある。また、知識を結びつけて理論的に解答する力に課題が見られる。 ○主体的に学習に取り組む態度 単元（分野）によって興味の示し方に差があるが、授業態度は悪くない。レポートの作成やノート作りに対する意欲には差がある。	○知識・技能 基本事項の定着を図るため、小テストを定期的の実施し、理解状況を可視化していく。 ○思考・判断・表現 暗記すれば答えられるという形態の授業やテストを減らし、知識を集大成して理論的に考えなければ行き着かない解答を求める授業やテストを増やしていく。 ○主体的に学習に取り組む態度 生徒が興味をもちやすい課題を設定し、学習を自分事として捉え、主体的に関われるような工夫をする。
3年	○知識・技能 大事なことを覚えることはできているが、スケッチやグラフ等の技能部分を丁寧にすることができないことが多い。 ○思考・判断・表現 様々な資料を比較したり、資料を適切に考え判断したり、表現することができていない。 ○主体的に学習に取り組む態度 意欲的に学習に取り組む生徒も見られる一方で、学習への関心・興味、積極性に差が見られる。集中力の持続に課題がある。	○知識・技能 苦手な部分に関しては、ICTを活用して視覚的に捉えるように工夫する。より知識の定着をはかるために問題集を繰り返し解くようにする。 ○思考・判断・表現 実験の考察を書く時に、班活動で意見を共有し、考えを言語化する力を伸ばしていく。 ○主体的に学習に取り組む態度 本時の目標を明確にする。生徒が興味をもつような導入の工夫をする。

音楽	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 ・ 共通事項の理解が不十分なことがある。 ○思考・判断・表現 ・ 音楽表現から感じたことや、表現の工夫をしたいことを言葉で表現する際、苦手意識がある生徒がいる。音楽について言葉で表現することに難しさを感じている。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 歌唱表現することに照れを感じる生徒がいる。	○知識・技能 ・ 音楽活動の中で折に触れ共通事項を取り上げて、実感を伴った理解を促す。 ○思考・判断・表現 ・ 友達の言語表現に触れ、自分の言語表現を改善する助けとする。話し合い、作文交換などの活動を取り入れる。 ・ 語彙を増やせるようにワークシートに語彙例を提示する。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 技術的なことをしっかり教え、意欲を認める声掛けを行い、表現しやすい雰囲気をつくる。
2年	○知識・技能 ・ 共通事項の理解が不十分なことがある。 ○思考・判断・表現 ・ 音楽表現から感じたことや、表現の工夫をしたいことを言葉で表現する際、苦手意識がある生徒がいる。音楽について言葉で表現することに難しさを感じている。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 音楽経験による感動を味わわせること、音楽によって心が動く体験を増やす。	○知識・技能 ・ 音楽活動の中で折に触れ、共通事項を取り上げて、実感を伴った理解を促す。 ○思考・判断・表現 ・ 友達の言語表現に触れ、自分の言語表現を改善する助けとする。話し合い、作文交換などの活動を取り入れる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 音楽に触れる感動、理解が深まる感動、つくり上げる感動を味わえる場面を授業計画に位置付ける。
3年	○知識・技能 ・ さまざまな音楽経験、多様な音楽文化に触れることが大切と考えるが、授業時数も少なく多様性が少ない。 ○思考・判断・表現 ・ 音楽表現から感じたことや、表現の工夫をしたいことを言葉で表現する際、苦手意識がある生徒がいる。音楽について言葉で表現することに難しさを感じている。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 中学校卒業後に音楽によって生活や心を豊かにし、音楽を愛好する心情をもてる生徒を育てることが課題。	○知識・技能 ・ さまざまな音楽経験ができるよう授業内容を吟味し、指導計画を作成する。 ○思考・判断・表現 ・ 友達の言語表現に触れ、自分の言語表現を改善する助けとする。話し合い、作文交換などの活動を取り入れる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ・ 多様な音楽に触れられるよう指導計画を作成し、音楽に触れる感動、理解が深まる感動、つくり上げる感動を味わえる場面を授業計画に位置付ける。

美術	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 多くの生徒は基本的な技能がおおむね身につけており、前向きな生徒が多いが基礎的な知識の定着に差が見られる。 ○思考・判断・表現 自由な思考から美術的な表現につなげていくことが苦手な生徒がいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 多くは意欲をもって学習に取り組んでいるが、試行錯誤しながらすすめていく意欲をあげたい。	○知識・技能 生徒が見返せるものを用意する。前回の授業の振り返りと見直しをセットで行う。 ○思考・判断・表現 鑑賞活動の充実を図る。 ○主体的に学習に取り組む態度 前回の振り返りを次につなげる時間を授業前に取り、より良いものを考えていくことを習慣化させる。
2年	○知識・技能 基本的な技能の定着が弱く、知識を制作に関わらせていくのが苦手で生かし切れていない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 自由な思考から美術的な表現につなげていくことが苦手な生徒がいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 完成までの見通しを立てることが苦手な制作が遅れる。作品の質を上げてよりよい作品を作ろうとする意欲が低い生徒がいる。	○知識・技能 「ここだけは押さえておく」ことを授業の都度に指示する。（ICT活用） ○思考・判断・表現 生徒の発想したことを共有をして、幅広い表現を知る機会をもつ。 ○主体的に学習に取り組む態度 タブレットを使った振り返りを導入したので、振り返りを書かせつつ、授業後に作品を撮影し、進捗を映像として残す。「次はここに進む」といった作業計画を見える化する。
3年	○知識・技能 制作に必要な知識や技能の定着が弱い生徒がいる。 ○思考・判断・表現 様々なアイデアから自分の表現を見つけることや、アイデアを膨らませたり選択したりするなど考えを深めることが十分でない。 ○主体的に学習に取り組む態度 主体的に深く学べていない。	○知識・技能 参考作品の提示や鑑賞を制作工程に合わせて取り入れ、理解や定着につなげやすくする。また、制作を一連の流れとして、制作工程に意味やつながりがあることを捉えさせ、振り返りシートを用いて毎回の過程を全体の中で意識させる。 ○思考・判断・表現 表現方法の意図を考えさせ、プリントや鑑賞学習、レポートで自分の考えを整理させながら、生徒自身がアイデアを選び取る過程を意識することを促す。 ○主体的に学習に取り組む態度 制作の成果を定期的に生徒自身が見つめる機会を設けることで目標へ向かう意欲や達成感をもたせる。また、鑑賞を通し、他の生徒のアイデアや様々なテーマの美術作品に触れ、他者や社会と自分自身を見つめさせることで、主体的に学ぶきっかけを作る。

保健体育	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 積極的な授業参加により、知識を得ることは多くの生徒ができています。しかし、その知識を技能で活かすことができていない生徒もいる。 ○思考・判断・表現 学んだ知識や習得した技能を活かして、自己や仲間の課題を発見し、意見の交換をしたり、その意見を自分事として捉える力がある。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して自主的に取り組む力、繰り返し粘り強く取り組む力がある。	○知識・技能 ICT機器を活用し、生徒同士の教え合いや指導の個別化をさらに行う。 ○思考・判断・表現 ICT機器を活用し、生徒同士の活動の時間を増やし、その共有を図れるしかけ作りを行う。 ○主体的に学習に取り組む態度 ICT機器、アプリケーションを活用し、授業以外でも視覚的に習得すべき動作を生徒自ら見る環境作りを行う。
2年	○知識・技能 積極的な授業参加により、知識を得ることは多くの生徒ができています。しかし、その知識を技能で活かすことができていない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 学んだ知識や習得した技能を活かして、自己や仲間の課題を発見することが難しい。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して自主的に取り組む力、繰り返し粘り強く取り組む力が弱い生徒がいる。	○知識・技能 生徒同士の教え合いや指導の個別化をさらに行う。 ○思考・判断・表現 自己や仲間の動作を撮影し、見本との比較を行わせる。 ○主体的に学習に取り組む態度 ICT機器を活用し、授業以外でも視覚的に習得すべき動作を生徒自ら見る環境作りを行う。
3年	○知識・技能 知識を高めようとする生徒は多くいる。しかし、それを自分の技能向上につなげる生徒が少ない。 ○思考・判断・表現 自身の運動についての課題解決に向けて思考、判断できる生徒が少ない。 ○主体的に学習に取り組む態度 学習課題や自分の技能向上に対して主体的に学習活動に取り組むことができていない生徒がいる。	○知識・技能 基本的な技能を身につけるために段階的な目標設定と振り返りを通して達成感を味わえる場面を設定する。 ○思考・判断・表現 運動の特性を理解し、自身や仲間の課題を解決するための方法を話し合う場面を設定する。 ○主体的に学習に取り組む態度 振り返りや自己評価を活用して、自らの課題を克服するために学習に取り組めるようにする。

技術	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 自分の日常生活に結びつけて学習を深められない生徒が知識の定着が難しい傾向にある。 ○思考・判断・表現 学習した知識から、より発展的なテーマについて思考を深められない生徒がいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 日常生活との結びつきを考えづらく、積極的に学びに向かえない生徒がいる。	○知識・技能 身近な題材をICT機器を活用し、写真や動画などの資料を掲示し、視覚的情報を増やす。 ○思考・判断・表現 日常生活のどの場面で活用されているのかをわかりやすく提示する。 ○主体的に学習に取り組む態度 今、考えている題材ができるようになると日常生活にどのような変化が生まれるのかをわかりやすく提示する。
2年	○知識・技能 現在行われているエネルギー変換のしくみやその変換効率の改善等、日常生活に関連付けて考えられない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 学習した知識から、より発展的なテーマについて思考を深められない生徒がいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 エネルギー変換等の技術が今日の生活を支えていることを実感をもってイメージがわからない生徒がいる。	○知識・技能 身近な題材をICT機器を活用し、写真や動画などの資料を掲示し、視覚的情報を増やす。 ○思考・判断・表現 日常生活のどの場面で活用されているのかをわかりやすく提示する。 ○主体的に学習に取り組む態度 過去と現在の技術の進化をわかりやすく説明し、現在の生活と関連していることを意識付けし、学習意欲を高められるようにする。
3年	○知識・技能 情報やプログラミング等に抵抗感が強く、そもそも学習に向かうのが難しいという生徒がいる。 ○思考・判断・表現 基礎的な知識の定着が難しく、その先の思考を深めることが難しい生徒がいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 情報の技術が今日の生活を支えていることを実感をもってイメージがわからない生徒がいる。	○知識・技能 身近な題材をICT機器を活用し、写真や動画などの資料を掲示し、視覚的情報を増やす。 ○思考・判断・表現 日常生活のどの場面で活用されているのかをわかりやすく提示する。 ○主体的に学習に取り組む態度 情報技術の革新をSociety5.0の観点からわかりやすく説明し、現在の生活と関連していることを意識付けし、学習意欲を高められるようにする。

家庭	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 自分の食生活に結びつけて学びを深められる生徒と、興味がもてずに知識の定着も出来ない生徒がいる。 ○思考・判断・表現 学んだ栄養素の知識から、自分の食生活での問題解決へと結びつかない生徒がいる。 ○主体的に学習に取り組む態度 普段の生活の中から課題を見つけることが難しい生徒が多くいる。各家庭における食事への関心や価値観の違いの影響も考えられる。	○知識・技能 ICT機器を活用し、写真や動画などの資料を掲示したり、献立作成サイトなどを活用したりして、より分かる授業を行う。 ○思考・判断・表現 各家庭の食生活の経験による知識の差や価値観の違いにも十分に配慮しつつ、個人ごとの取り組みを共有して学びを深める。 ○主体的に学習に取り組む態度 2学期には調理実習を実施し、食事の役割や調理することの楽しさに触れる機会を多く設け、自分食生活を見直し改善できるようにする。
2年	○知識・技能 被服実習では、手先が器用で作業内容への理解力が高い生徒は、早く進むが、そうでない生徒はとても時間がかかってしまう。 ○思考・判断・表現 生活を工夫し創造する力の中から課題を見つけることが難しい生徒が数名いる。 ○主体的に学習に取り組む態度 自分の衣服の管理を親任せにしている生徒も多いため、実生活に結びつけて課題や問題点を改善する力を養う。	○知識・技能 被服製作では、誰がみてもわかる手順書を作成し、タブレットに配信してすぐに手元で確認出来るようにする。 ○思考・判断・表現 毎時間の振り返りを記録し、次に繋げられるシートを作成する。 ○主体的に学習に取り組む態度 夏休みには家で洗濯実習を行う宿題を出し、学んだことを活用して実生活につなげる。
3年	○知識・技能 2週に1回の少ない授業でも、幼児について学習に意欲的に取り組み、知識もしっかりと身につけている。2学期には昨年学んだ裁縫の技術を使って、子どもが喜ぶおもちゃ作りに取り組む。 ○思考・判断・表現 学んだ知識からさらに深く考える内容になると、弟妹など周りに小さい子どもがいる生徒は実体験をもとに考察し表現出来る、逆にあまり興味がない生徒などは知識だけではなかなか想像出来ず、学びが深まらない。 ○主体的に学習に取り組む態度 家族や地域の生活について、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する力を身につけた。	○知識・技能 幼児の生活に興味をもってもらえるよう、子育て中の教員にも協力してもらい、写真や動画を紹介して興味をひく。 被服製作では、誰がみてもわかる手順書を作成し、タブレットに配信してすぐに手元で確認出来るようにする。 ○思考・判断・表現 毎時間の振り返りを記録し、次に繋げられるシートを作成する。 ○主体的に学習に取り組む態度 家庭生活や子育ての時事問題として新聞記事やネットニュースなどを活用し、問題意識を高める。

英語	課題分析	授業改善案等
1年	○知識・技能 基礎的な知識・技能の定着状況に差がみられる。 ○思考・判断・表現 目的・場面に合わせ必要な情報入れたり既習の表現を用いて表現したりすることが課題である。 ○主体的に学習に取り組む態度 自ら既習の表現を活用し目的・場面に合わせ多くのことを伝えようとする時、積極性に差がみられる。	○知識・技能 授業中ペアワークで反復して活動し、基礎的な知識・技能の定着を図る。 ○思考・判断・表現 授業中に目的・場面を設定しライティング活動を繰り返し行う。そして、パフォーマンステストで目的・場面に合わせ自己表現できる力をつける。 ○主体的に学習に取り組む態度 ペアワークで知識・技能の定着を図りながら、ICTや教科書等を活用し自ら表現しようとする機会を設ける。そしてパフォーマンステストで既習の表現を多く活用し表現しようとする姿を引き出す。
2年	○知識・技能 基礎的な知識・技能の定着状況に差がみられる。特に正確に「書く」ことが苦手な生徒が多い。 ○思考・判断・表現 自身の言いたいことを、既習の表現を用いていかに伝えるかを考え、実際に書いたり言ったりすることに慣れていない生徒が多い。 ○主体的に学習に取り組む態度 挙手をして発言する経験が少なく、受け身の姿勢で授業に取り組む生徒が多い。また、集中力に欠ける生徒もいる。	○知識・技能 新出単語はデジタル教科書を使用しながら繰り返し覚えさせる。文法の定着を図るため、授業プリントに加え、ワークの問題を解き、音読させ、例文のストックを増やす。 ○思考・判断・表現 授業プリントやワーク演習で基礎的な表現を理解した上で、英作文やALTとの会話練習等、目的・場面に応じた自己表現をする機会を設ける。 ○主体的に学習に取り組む態度 英作文や会話練習では、実際にありそうな場面設定を行うなど、課題を工夫し、「やったらでき」という経験を積ませる。
3年	○知識・技能 知識が断片的で体系的に習得されていない。また、4技能中、特にリスニング力が弱い。 ○思考・判断・表現 社会的な話題や一步踏み込んだ質問に対しての返答や理由を表現できない。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題に対して、主体的に学びが深められていない生徒がいる。	○知識・技能 長文読解に慣れさせるため、英語で書かれたエッセイや入試問題の長文を読む練習を定期的に授業に取り入れる。教科書のリスニング問題を2回聞き、1回目は流しで、2回目はヒントやポイントを伝えるなどの工夫を加え、定期的に行う。 ○思考・判断・表現 自分についてや社会について深く考えるトピックを提供し、自分の考えを言語化する練習を定期的に行う。そのためにALTも最大限活用していく。 ○主体的に学習に取り組む態度 課題設定を工夫し、生徒が主体的に学びを深められるようにする。